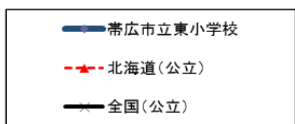
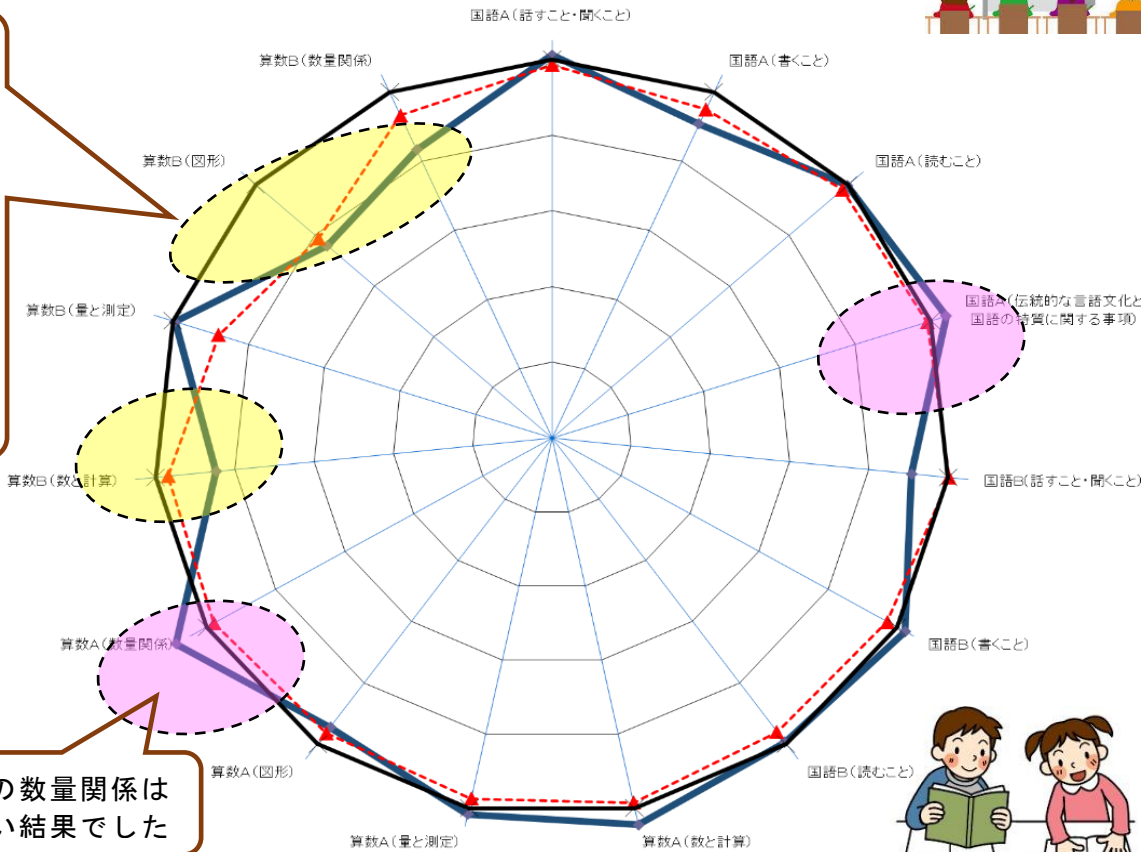


# 全国学力・学習状況調査の結果から

## 本校児童の学力の様子



算数Bの図形や数量関係等で課題が見られました。



国語A・B、算数Aにおいて全国平均を上回る結果となりました。家庭学習や繰り返し返しの指導の効果が表れてきています。

算数Aの数量関係は大変良い結果でした



### 国語A 主として「知識」に関する問題

互いの話を聞き、共通点や相違点を整理しながら、進行に沿って話し合う。目的や意図にに応じ、内容の中心を明確にして、詳しく書く。目的に応じて、文章の中から必要な情報を見つけて読む。ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いる問題などが出題されました。

#### 〈本校児童の傾向〉

- 漢字の読み方についてはほぼ全ての児童ができていました。書き方についても良好です。
- 内容の中心を明確にして、詳しく書くことが得意です。
- 手紙の構成を理解し、後付けを書くことに弱さが見られます。
- ことわざの意味を理解して自分の表現に用いること、楽しみながら読むことが得意です。

### 国語B 主として「活用」に関する問題

スピーチの練習を通して、自分が伝えたいことを的確に話すことができるか、場に応じた適切な言葉遣いで自分の考えを話すことができるかを見る問題。協力を依頼する文章を書く問題。物語を読んで感想を伝え合う問題などが出題されました。

#### 〈本校児童の傾向〉

- 文章全体の構成を考えたり、引用して書いたりすることが得意です。
- 理由を明確にして自分の考えをまとめることに弱さが見られます。

## 算数A 主として「知識」に関する問題

基本的な計算の問題の他、三角形と四角形の底辺と高さの関係、量の比較や測定、立方体の面と面の位置関係、□を使った式、資料の分類整理など幅広く出題されました。

### 〈本校児童の傾向〉

- 四則計算、乗法で表すことができる二つの数量関係はほとんどの児童ができています。
- 最小公倍数、立方体の面と面の位置関係、資料の分類整理についての理解が高いです。
- 商を分数で表すことに弱さが見られます。

## 算数B 主として「活用」に関する問題

問題場面から見いだした数量の関係を考察したり、その関係を一般化して表現する問題。日常生活の問題の解決のために、必要な情報を選択して数学的に処理したり示された方法を場面に応じて適用したりする問題。測定値を平均する考えを用いて適切に判断したり、示された方法を解釈・表現したりする問題が出題されました。

### 〈本校児童の傾向〉

- 示された条件をもとに立式する、示された考えを理解し図に表現することが得意です。
- 問題の理解は出来ているが、式や言葉で表すことに弱さが見られます。
- 身近なものに置き換えた時の基準量、比較量、割合の関係を押さえることに課題があります。

## 児童質問紙[生活習慣や学習環境に関する調査]から



### ①生活習慣

就寝・起床時間が一定している児童が多いです。自尊感情に課題が見られる児童も見られます。テレビ視聴は少ないが、ネット・ゲームの時間がかかなり多い傾向があります。ほぼ全員が将来に対する夢や希望をもっています。

### ②家庭学習

全体的に家庭学習の習慣化が図られていますが、2時間以上取り組む児童が少ない傾向があります。

### ③学校の生活

学校で友達に会うのが楽しく、学校の授業も楽しいと感じています。きまりを守ること、いじめを許さないことを肯定する児童が多いです。

### ④地域・社会に関する興味関心

地域行事に参加していることや、地域の大人との関わりが低い傾向にあります。新聞を読む児童が多く、社会情勢への関心が高いことが伺えます。

これらの結果を受け、学校では以下の視点を引き続き大切にしていきたいと考えます。

- ・「読み・書き・計算」などの基礎的基本的な知識・技能の習得については、習熟度別指導、TT（ティームティーチング）の充実、繰り返し学習や体験的活動を重視するなど、発達や学年の段階に応じて習得させ、学習の基盤を育てていきます。
- ・つまずきやすい内容については重点的に取り扱ったり個別に指導したりするなど、より確実な定着を図り、分かる喜びを実感させていきます。
- ・知識・技能を活用する力の育成については、言葉や数・式・図・表・グラフ・実験結果などを用いて考えたり、説明したり、表現したりする機会を適宜設定し力を高めていきます。
- ・保護者の理解・協力のもと、学習や生活習慣の確立・学習意欲の向上・読書活動の充実に向けていきます。（生活リズムチェックシート・ノーテレビデーの取組など）

